

令和5年  
11月

北文化小劇場 催し物ご案内

開催日	催し物名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
3日 (金・祝)	令和5年度 北区合同文化祭	13:30	15:20	北文化小劇場 052-910-3366	無料
4日 (土)	リラ Ballet & Dance 2023	16:00	18:00	リラ プライベート バレエスタジオ 080-8256-5537	無料 (要整理券)
7日 (火)	年末調整説明会	13:30	15:00	公益社団法人 名古屋北法人会 052-915-3886 (FAX 915-3850)	無料 (要事前申込)
11日 (土)	人業劇団ひらき座 第40回自主公演 ひらき座版 「西遊記 後伝」 ～終わりなき旅路～	①14:00	①16:00	人業劇団ひらき座 0561-69-2663(水谷)	全自由席 一般 2,000円 学生(高校生まで) 1,000円 障がい者 1,000円
12日 (日)		②18:00	②20:00		
16日 (木)	税務教室 (第2回)	10:00	11:30	公益社団法人 名古屋北法人会 052-915-3886 (FAX 915-3850)	無料 (要事前申込)
23日 (木・祝)	第2回 絃衣の会	13:30	17:00	佐藤亜衣 090-9935-5005 (FAX052-701-3017)	無料
26日 (日)	創立20周年記念 第20回なごや手話フェスティバル <b>チケット 取扱い</b>	13:30	15:30	なごや手話フェス ティバル実行委員会 FAX 052-452-4586	前売 2,000円 当日 2,500円 小学生まで 無料

チケット  
取扱い …北文化小劇場にてチケット取扱い

\* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。  
\* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]  

お問い合わせ  
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス  
名古屋市北区志賀町4丁目60-31  
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

総合建設業  
株式会社 原田工務店  
052-901-3210

広告募集中!  
掲載料1枠5,000円/年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

2023年

北文化小劇場だより 11月



2023.12.9(土) 14:00開演

【チケット】全自由席  
一般 1,500円  
友の会・障がい者 1,300円



菊池 京子  
[ソプラノ]



西元 佑  
[バリトン]



松原 未弥  
[フルート]



秀平 雄二  
[ピアノ]



【プログラム】  
♪ てんとう虫のサンバ  
♪ 津軽海峡・冬景色  
♪ 北の宿から  
♪ 真赤な太陽 ほか



あけぼの 白木  
0120-758-216

KAWAI  
NAGOYA  
052-962-3939

清酒 金虎  
052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ  
魚鉄  
052-911-1211



華道石田流 四代目家元  
石田 巳賀先生

【華道】第2回「花に恋して～11月」

菊花薫る季節になりました。11月は、秋の花を代表する菊の花が旬を迎えます。桜と並び日本の国花で、とても馴染みのある花ですね。今回は、菊の話の少し。

写真の作品は、G20愛知・名古屋外務大臣会合夕食会（撮影日：2019年11月22日）でいけた作品のひとつです。花材は、カガリベンギク・ウメドモキ・モミジ。花びらの先端に突起があるカガリベンギクは、愛知県と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との共同育成品種で、ベストフラワー（優秀賞）を受賞されています。とても可憐で、和風・洋風どちらも似合い、現在は、白・紫・黄色が開発されています。他の色も、今後期待できそうですね。

菊の花言葉は「高貴」「高尚」「高潔」。皇室の紋章に用いられています。原産は中国。平安時代に日本に伝えられました。不老長寿の霊性があるといわれ、数多くの詩や能の演目の題材になっています。少し紹介しますと、陶淵明（とうえんめい）の漢詩に「秋菊有佳色」の一説や、能「菊慈童（秋慈童）」などがあります。紫式部は、夕刻、菊の花に綿をかぶせ（菊の着せ綿）、朝露に濡れたその綿で顔をぬぐいアンチエイジングしていたとか。



凜とした大輪の菊も美しいですが、自然に咲く小さな野菊も可愛らしいもの。菊花の香りを楽しみながら、お部屋に飾ってみてください。

【花いけワンポイント】菊をいける時、葉の模様の美しさを生かしてみてください。

4ジャンルの伝統文化アドバイザーが伝統文化についての相談・質問にお答えします！  
メール（kita@bunka758.or.jp）に下記内容を入力の上、お気軽にお問い合わせください。



加藤条山氏（尺八）



石田巳賀氏（華道）



華房小真氏（端唄）



國分入道光雲氏（和太鼓）

- 質問するアドバイザー名
- お名前 ○年齢 ○地域
- 地域 ○所属団体（任意）
- メールアドレス ○ご質問内容



施設事業のご案内

12/9(土)「あの頃の歌コンサート」

懐かしさを感じられる昭和の名曲を若手演奏家による歌と演奏でお届けします。  
あの頃の思い出とともにぜひお楽しみください。

日 時：令和5年12月9日（土）  
14:00開演（13:30開場）  
会場：北文化小劇場ホール  
料金：〈全自由席〉  
一般 1,500円 友の会・障がい者等 1,300円  
※未就学児入場不可。  
出演：アンサンブル hoku hoku  
菊池京子（ソプラノ）、西元佑（バリトン）、松原未弥（フルート）、秀平雄二（ピアノ）  
曲目：てんとう虫のサンバ、津軽海峡・冬景色、北の宿から、真赤な太陽ほか



第7回「レディ・ベス」

前号では、舞台セットとしてお手製のシャンデリアを創作した話をしましたが、やはりプロの作る舞台セットは桁違いな規模のものがたくさんあります。私が今まで見た中で最も感動した舞台装置の一つに「レディ・ベス」の舞台があります。「レディ・ベス」は約45年もの長きにわたって英国に繁栄をもたらした女王、エリザベス1世の若かりし頃の思いと葛藤の物語です。

劇場に入るとまず、中央に大きなホロスコープのような円形舞台がありました。ホロスコープってご存知ですか？占星術なんかで使われる円形の天体図で、周囲に文字や星座を表す文様が施されているものですね。この舞台セットを見た最初の印象は、シンプルに「きれい」でした。青を基調とした神秘的な空間が、これから始まる物語を予感させ、わくわくしたのを覚えています。これまで見た舞台の中にも、もはや建築ではないかと思うぐらい大規模な舞台セットはありましたが、この円形舞台については、何も具体的な構造物はないからこそ、とても心に響いたのかなと思います。

実際に公演が始まると、その円形舞台はどの方向にも傾くようにできていました。また、傾く角度も変えられるため、時には小高い丘となり、時には部屋の中の椅子の高さ程度になり、時には別空間を表現するのに使われたりしており、さまざまな演出の役目を果たしていました。舞台奥にも、ホロスコープを模したような円形のオブジェがあり、模様の部分が青や赤に変化することで、シーンの情景を表していました。基本的には、青をベースとして物語が進んでいくのですが、スペインの王子が出てくるシーンには空間が真っ赤に染まり、印象ががらっと変わったのを覚えています。実在の人物をベースにしている物語なのですが、終始どこかおとぎ話のような神秘性があり、不思議な魅力に惹きこまれてしまいました。

こうした演出効果抜群の舞台だったのですが、ふとキャストの方はずっと斜めの床で立っていないといけないうのだなと気づいた時に、いったいそれはどれほど大変なのだろうかと震えてしまいました。そういえば、舞台用語には「八百屋（または八百屋舞台）」という言葉があります。どういう意味か、想像がつくでしょうか？・・・実は、舞台奥の床を高くして傾斜をつけた舞台のことをいうんです。八百屋の店先で野菜を並べる台が、奥に向かって斜めに傾き、見えやすくなっている様子に似ていることが由来と言われています。客席からは気づかないぐらいの傾斜が多いのですが、キャストの方はとても大変だというエピソードを聞いたことがあるのを思い出しました。どんな状態でも素晴らしい演技で舞台を作り上げてくれるキャストの方たちに、全力で拍手と応援を届けたいと思います。



ホワイエ 展示スペース紹介

劇場ホワイエには展示スペースがあるのをご存じでしょうか？こちらには名古屋の伝統工芸品が展示されています。今回は現在展示されている櫛留商店の「つげ櫛」についてご紹介します。

つげ櫛とは、ツゲという適度な堅さと粘り気を持つ木材からつくられる櫛のことで、現在でも相撲や伝統芸能の世界では髪結い道具の必需品です。歯先を丁寧に仕上げることにより、静電気が起きにくく、髪を傷めず毛根に心地良い刺激を与えることができます。

櫛の製造は、まず陰干しによって木の水分を取った後、燻しと陰干しを数か月おきに繰り返します。この燻乾燥の工程にはなんと約5年の年月がかけられ、その後手作業で櫛の歯を一本ずつ何千回も磨きます。長い年月と職人の技によりつくられるつげ櫛は、手入れをすることで何十年も使用することができる、まさに一生もの。

劇場ホールにご来場の際にはぜひ一度ご覧ください。



ホワイエ展示スペース



燻乾燥したつげの木材



大相撲の櫛

櫛留商店  
名古屋市北区駒止町1-60  
TEL(FAX):052-991-3759  
Mail:kusitome@minos.ocn.ne.jp



快適以上を、世の中へ。



広告募集中！  
掲載料1枠50,000円／年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366